

令和7年度 大館市立早口小学校 学校評価書(前期) 年度)
 学校教育目標

未来を見つめ はつらつと学び 共に輝く 子どもの育成

めざす学校の姿

- ☆楽しく学び、達成感や自己有用感を抱く学校（子ども）
- ☆経営方針や様子が分かり、信頼できる学校（保護者）
- ☆子どもの元気が届き、応援したくなる学校（地域）
- ☆学び合い、高め合い、力を発揮できる学校（職員）

めざす子どもの姿

- は：はつらつと伝え合う子ども
- や：やさしく親切な子ども
- ぐ：くじけずに取り組む子ども
- ち：ちいきを愛する子ども

経営の重点



人皆に美しき種子あり「TANEPRO CHALLENGE!」

「心はいつでもあたらしく 毎日何かしらを発見する」

～自他の幸福につながる「自立・感謝・貢献」のふるさとキャリア教育～

チーム早小のウェルビーイング



重点1 学力の定着と向上

- 基本的学習習慣、学習規律の確立
- 意欲を高め、子どもが活躍する授業の推進
- 確かな学力の向上と共感的・協働的学び合いの推進
- ユニバーサルデザインを基盤とする学習環境の充実

重点2 豊かな心の育成

- 元気なあいさつと返事の奨励
- 何でも言い合える学級づくり
- 安全・安心でみんなが気持ちのよくすごせる学校づくり
- 道徳科・道徳教育の充実
- 思いやりの心を育む特別活動の推進

キーワードは…

K

- ・気づき
- ・考え
- ・行動する

早小 KC Mind
自立・感謝・貢献

e

- ・チャンス
- ・チャレンジ
- ・チャレンジ

重点3 健康教育の充実

- 基本的生活習慣の定着
- 健康・安全教育の充実
- 体力テストの結果を生かした体力づくり
- 食育・保健教育の充実

重点4 家庭・地域との連携

- ふるさとキャリア教育の一層の充実
- 「早口川の徒渡り」の確かな継承
- 地域素材・人材を活用した多様な体験活動の展開
- ふるさと早口を愛する心、感謝の気持ちで地域貢献しようとする態度の育成

めざす教師の姿

- 愛情と情熱をもち、子どもとともに歩む教師
- 自ら研修に励み、学び続ける教師
- 家庭や地域と連携し、信頼される教師

子どもを支える地域・家庭

- 自己有用感を育む温かい地域・家庭
- 安全・安心に過ごせる地域・家庭
- 子どもの夢を大切に育む地域・家庭

教師集団
(チーム早小)

情報発信・情報共有、協力・連携、提言

学校運営協議会



見守りたいの皆さんとの顔合わせ会



運動会での遊競技「年貢 for You」



「早口川の徒渡り」PR活動

学校評価A と学校関係 者評価の評 価区分	きわめて良好	学校評価Bの 評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

ア 児童の状況

I 自主的・自立的な生活

児童生徒の状況		学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
明るく心のこもった挨拶をし、規律ある落ち着いた生活を送りながら、主体性や責任感を育もうとしている。	前期	おおむね 良好	おおむね 良好	児童数の減少により、登校班が小規模化しているが、あいさつも近所の会社まで響くようによくなってきた。お手伝いや生活時間の過ごし方が家庭によって違い、個別に課題になっている。
	年度			
学校評価の概要と学校の改善策	【前期(→年度)】 ○運営委員会のあいさつ運動に加えて、なかよし班で「あいさつらい隊」を行った。また、小中連携あいさつ運動を実施し、中学生と交流したことが互いにより刺激となった。→活動中は自発的なあいさつを意識できたが、校外や活動時以外の場においての習慣化に課題が見られる。日常的な指導を継続しながら意識向上を図る。 また、月に1回の「あいさつらい隊」を継続していく。 ○小中連携自立プランについてPTAで話題に取り上げ、家庭との共通理解を図った。また、生活習慣をより意識して改善できるように、今年度は3つの項目に焦点を当てて取り組んでいる。→学校と家庭の両方で働きかけながら、基本的生活習慣の形成を図る。 ○交通安全や学校生活の約束について、危険な場合はその都度伝え、登下校指導等を行い、注意喚起した。→「早小7ルール」の意識付けをするために、全校集会で運営委員が呼びかけをしていく。 ○校内では、掃除、体力テスト、なかよし班遊び、元気農園活動等を通して他学年との交流ができた。また、校外では、羽羽街道の旅で碓ヶ関開所、弘前城へ行った際に、なかよし班で活動することで交流を深めることができた。→今後も高学年を中心に、他学年と交流できる場を設定していく。 ○運動会のテーマ、児童会テーマについて各学級で話し合った。その後、各学級の意見を6年生でまとめ、全校に報告した。児童総会では新たな意見が出るなど意見交流ができた。→今後も行事に向けての話し合いの場を学級で設定していきたい。また、積極的に学級会を行うよう声掛けをしていきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
1 基本的生活習慣の確立	(1) 正しい言葉遣いと明るいあいさつの習慣化	学校内外での明るいあいさつ 小中連携あいさつ運動 正しい言葉遣いの指導	3	
	(2) 自立に向けた基本的生活習慣の形成	小中連携自立プランの活用と定着 家族の一員としての自主的な手伝い習慣の奨励	3	
	(3) 生活の約束を守る姿勢・態度の定着	児童主体の早小7(セブン)ルールの実践 生徒指導だよりの発行	3	
2 集団生活・集団活動	(4) 自主的・実践的な態度を育てる特別活動	学校行事・元氣農園活動・児童会活動・集会活動等への自主的・積極的な参画と運営 異学年同士で認め合い協力し合う縦割り活動	4	
	(5) 明るさとやる気に満ちた学級集団の形成	学級活動の充実 主体的な係・当番活動への取組 学級会の主体的な話し合い活動	4	

★実践 ○児童 □保護者 ■教職員

[1 基本的生活習慣に関するデータ]

(1) 正しい言葉遣いと明るいあいさつの習慣化

- 進んで元気にあいさつしている。
□本校の子どもたちは自分から元気にあいさつができていますか。
■校外での明るいあいさつ、正しい言葉遣いができているか。

(2) 自立に向けた基本的生活習慣の形成

- 学校の準備などを自分でしている。
□自分で学習の準備をしたり家のお手伝いをしたりしているか。
■自立に向けた基本的生活習慣ができているか。

(3) 生活の約束を守る姿勢・態度の定着

- 交通安全のルールや学校、家の約束を守って生活しているか。
□交通ルールや学校、家庭の約束を守っているか。
■生活の約束を守る姿や態度が定着しているか。

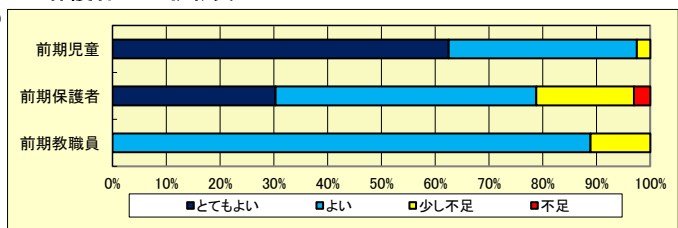


★小中合同あいさつ運動
朝の登校時、本校の運営委員と田代中学校の中学生であいさつ運動を実施し、終了時に合同で活動の振り返りを行った。

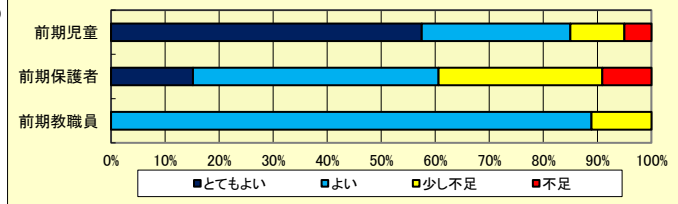


★交通安全指導
1・2年生が実際に道路に出て歩き、登下校の仕方を確認した。3～6年生は体育館で自転車の乗り方や交通ルールを確認した。

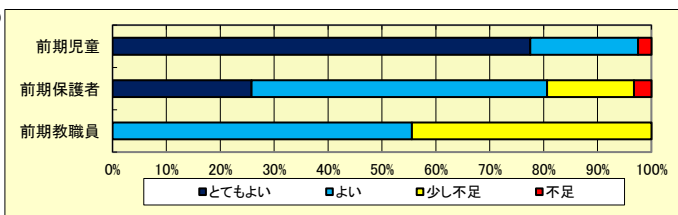
(1)



(2)



(3)



[2 集団生活・集団活動に関するデータ]

(4) 自主的・実践的な態度を育てる特別活動

- 学級の係や委員会活動、チーム活動、なかよし班でのそうじなどに進んで取り組んでいる。
□行事や児童会活動、はつらつチーム活動等は主体性や実行力を育んでいるか。
■自主的・実践的な態度を育てる特別活動となっているか。

(5) 明るさとやる気に満ちた学級集団の形成

- 学級の係や当番活動、学級会の話し合いに進んで取り組んでいる。
□係や当番活動、学級会が工夫され主体的に取り組んでいるか。
■学級の係・当番活動、学級会の主体的な話し合い活動ができているか。

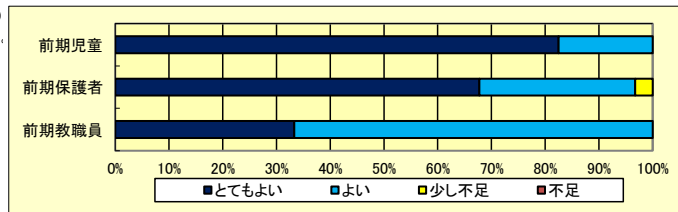


★羽羽街道の旅
なかよし班で碓ヶ関開所、弘前公園を見学。6年生が中心となって活動することができた。

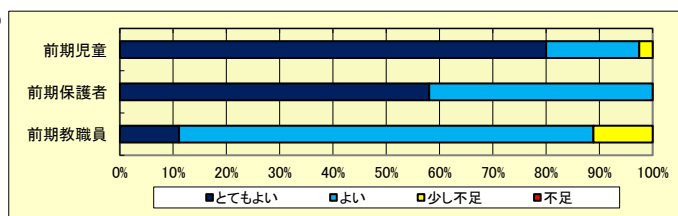


★児童総会
児童会テーマについて、6年生がまとめたものを報告。その後、意見交流。

(4)



(5)



ア 児童の状況

Ⅱ 豊かな心				
児童生徒の状況	前期	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
自分らしさを発揮しながら、夢の実現に向かって努力する、豊かな人間性を育んでいる。	良好	良好		徒渡りなどの代表行事に子どもたち自身が自分から取り組み、その活動の中で思いやりの心が育まれている。幼小の連携や、複式学級内での隔たりのない関係性もよい効果を上げている。
学校評価の概要と学校の改善策	【前期(一年度)】 ○徒渡りや元気農園等において、異学年交流や地域の人材を生かした活動に取り組んだ。活動を通し、互いのよさや頑張りを認めたり、地域への誇りと感謝の思いを実感したりする様子が見られた。道徳の学習においては、自分との関わりとして考えられるよう、行事や日常生活の場面を想起しながら課題を設定した。また、学校行事等のねらいに道徳の価値項目を明記し、教員間で意識付けを図った。→相手意識をもち、その場に応じた言葉選びができるよう引き続き指導し、より一層思いやりの心を育てていきたい。 ○週1回の子どもの語る会や月1回の教育相談を通し、児童の実態把握に努めた。また、児童の頑張りを職員間でその都度共有し、指導を行うことができた。→情報を共有しながら児童の実態把握に努め、所属意識が高まるような学級活動を工夫していく。 ○温かい雰囲気や異学年交流を進めていけるよう、なかよし班顔合わせ後、班のメンバー全員で遊ぶ時間を設けた。高学年が企画・運営し、リーダーシップをとりながら異学年で楽しく交流した。徒渡りの活動では、地域の方々と関わりながら活動するとともに、徒渡りについて他校へPR活動を行ったり、羽州街道について学んだことを発表したり、自分の役割を自覚しながら一人一役で活動に取り組んだ。→今後も自己有用感を実感できるよう、活動の目標と目的意識をもって取り組めるような場の設定をしていく。 【年度(一次の年度)】			
		実践課題	主な取組	学校評価B 前期 年度
3 思いやりの心の育成	(6) 思いやりのある行動を育む環境と活動	ふるさとに広げる「美しき種子」活動(徒渡り・元気農園・はつらつ弁当) 道徳と日常活動との関わり		4
4 豊かな体験活動	(7) 自他のよさを認め合う学級づくり	学級目標の実現 認め合う学級活動 心の居場所づくり 生徒指導の機能を生かした授業 いじめアンケート・児童理解の会の活用 教育相談日の充実		4
	(8) 一人一人のよさの発揮と自己有用感の育成	学年のよさを生かすなかよし班活動 主体的な集会活動 交流活動の充実 「美しき種子」活動(元気農園・徒渡り等)を通して地域貢献		4

★実践事項 ○児童 □保護者 ■教職員

[3に関するデータ]

(6) 思いやりのある行動を育む環境と活動

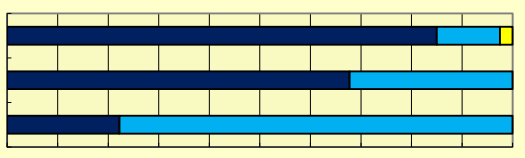
- 道徳の時間には自分の行動や生活を振り返って考えたり、友達の気持ちを考えたりしている。
- はつらつ元気農園や縦割り活動、道徳教育などで、子どもたちに豊かな心を育んでいると思うか。
- 道徳教育、縦割り活動、「美しき種子」活動などで思いやりの心を育てているか。




(6) 前期児童

前期保護者

前期教職員



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■ とてもよい ■ よい ■ 少し不足 ■ 不足

★ ふるさと元気農園活動

はつらつチームごとにベアを組み、農園活動に取り組んだ。サツマイモの苗植えでは、地域の方々やたしろ保育園の園児と一緒に活動した。

★ 道徳コーナーの活用

授業の足跡として、また、参考になった友達の考えや振り返りを共有する場として各学級にコーナーを設けた。

[4に関するデータ]

(7) 自他のよさを認め合う学級づくり

- 友達のよいところを見つけたり、紹介したりしている。
- 学校では子ども一人一人を大切にしようという学級づくりを行っていると思うか。
- 学級目標を実現する心の居場所作り・学級活動・生徒指導の機能を生かした授業・児童理解ができているか。

(8) 一人一人のよさの発揮・自己有用感の育成

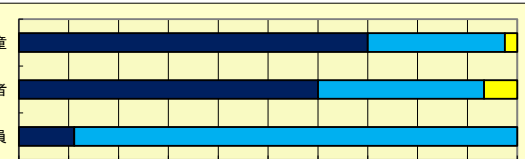
- 元気農園活動や徒渡りなどのふるさとキャリア教育で自分の種を育てようががんばっている。
- 色別チームやなかよし班や集会活動、はつらつ元気農園、徒渡りなどを通して、子どもたち一人一人がよさを発揮し自分を大切にすることを育んでいると思うか。
- なかよし班、色別チーム、「美しき種子活動」などの交流・貢献活動によって、子どもたち一人一人が自己のよさを発揮し、自己有用感を高めているか。




(7) 前期児童

前期保護者

前期教職員



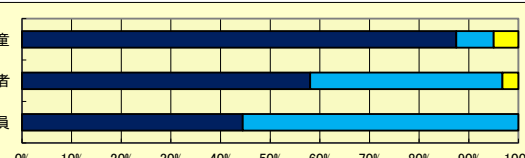
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■ とてもよい ■ よい ■ 少し不足 ■ 不足

(8) 前期児童

前期保護者

前期教職員



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■ とてもよい ■ よい ■ 少し不足 ■ 不足

★ 羽州街道の旅事前学習会

校長先生から碓ヶ関関所・弘前城の歴史や江戸時代の人々の様子について話を聞き、羽州街道の旅に向けて自分の疑問をもつことができた。

★ 徒渡りPR活動

山瀬小や田代中に出向き、徒渡りについてのPR活動を行った。徒渡り当日は、たくさんの児童・生徒の参加もあった。

ア 児童の状況

Ⅲ 健康と体力

児童生徒の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
健康や体力に関心を持ち、望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期 おおむね 良好	おおむね 良好	体力は平均を保っており、計画的な取組の効果が出ている。メディアコントロールは、保健委員会を活用して周知が図られてきている。昼休みの遊びを推奨したい。
改学 善校 策評 価の 概要 と学 校の	【前期(一年度)】 ○健康診断結果を保健だより等で家庭に周知するとともに、実態に合わせた歯の指導を行ったり、児童が主体となった健康的な生活の呼びかけを行ったりすることで、健康についての意識が高まった。→9月のメディアコントロール週間では、小中連携した委員会活動による全校への呼びかけや、実態調査結果を活用した保護者への働きかけを行っていく。また、学校栄養士や学校歯科医と連携した指導を実施予定。 ○わくわくマラソンを週2回中休みに実施。昨年同様、記録カードに運動会の結果と秋のマラソン記録会の目標・結果を記入する欄を作成。今年は行事の関係で回数が減ってしまった。→秋のマラソン記録会に向けて引き続きわくわくマラソンを実施していく。11月からわくわく縄跳びを実施。 ○昨年度の新体力テストの結果を踏まえ補強運動や体育の指導の改善が足りなかった。 →本校の児童が苦手な運動領域の改善に向けた実践を提示したり、指導の仕方について共有したりしていく。 【年度(一次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
5 健康教育	(9) 望ましい食習慣と健康教育	生活実態調査による実態把握 メディアコントロールカード・食育指導の充実 保健だよりの発行など保護者への啓発	4	
6 体力の向上	(10) 業間運動への積極的な取組	わくわくマラソン・縄跳び 外遊びの奨励 徒競走・持久走記録会の実施	4	
	(11) 新体力テスト結果の活用	昨年度結果の活用 体育学習での補強・準備運動	3	

★実践 ○児童 □保護者 ■教職員

〔5 健康教育に関するデータ〕

(9) 望ましい食習慣と健康教育

- 歯磨きやメディアコントロールなどへの取組をすすんでがんばっている。
- 保健だよりの発行やむし歯予防・食育などの指導、メディアコントロールカードなどの実施は健康習慣への関心を高めているか。
- 生活実態調査による実態把握、むし歯予防指導、保健だよりを通して児童の食習慣と健康習慣が改善されているか。

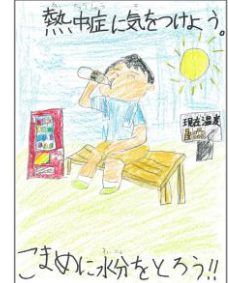
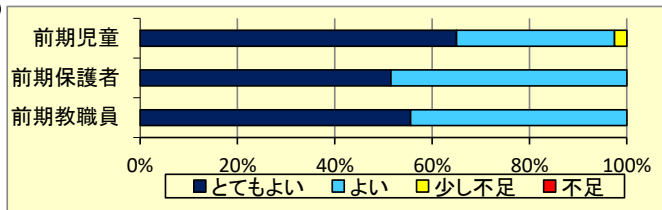
★養護教諭による歯みがき指導

各クラスごとに、発達段階に合わせた歯の健康に関する指導やカラーテスターを使用した歯みがき指導を実施した。

★委員会活動による望ましい生活習慣の呼びかけ

5月「早ね・早起き・朝ごはんチェック」、6月「歯ブラシチェック」
7月「熱中症予防ポスター作成」を行った。

(9)

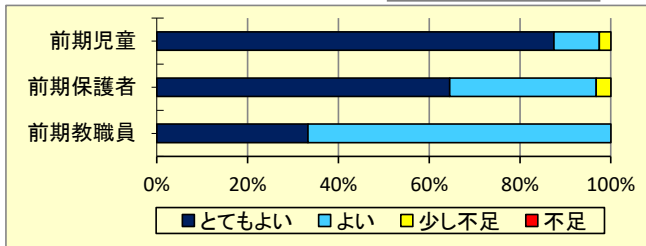


〔6 体力の向上に関するデータ〕

(10) 業間運動への取組

- わくわくマラソンなどの体力づくりに取り組んだり、外で遊んだりしている。
- わくわくタイムのマラソンやなわとび運動、外遊びの奨励は進んで運動し体を鍛えようとする子どもを育てているか。
- わくわくマラソンやなわとび運動、外遊びの奨励、持久走記録会の実施により児童の体力が向上しているか。

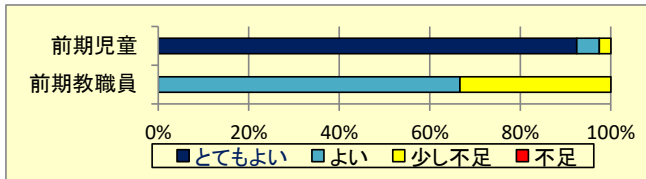
(10)



(11) 体力テストの結果の向上と活用

- 体育の時間には、自分が苦手な運動にもがんばって挑戦している。
- 体力テスト結果の分析・活用、体育授業での取組が体力向上につながっている。

(11)



★ わくわくマラソン
中休みに週2回実施。
全学年一斉に行った。



★ 新体力テスト
縦割り班の班長を中心に、
全校一斉に実施。
シャトルランの様子

ア 児童の状況

Ⅳ 基礎学力

児童生徒の状況		学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
意欲的に学習に取り組み、基本的学習習慣を身に付けながら学力を向上させようとしている。	前期	おおむね 良好	おおむね 良好	授業への取組は向上してきている。さらに自分の思いを伝える表現力を鍛えたい。家庭学習の習慣化は家庭によって個人差が出ている。読書の取組もしくみを整えつつあるので習慣化を目指したい。
	年度			
学校評価の概要と学校の改善策	【前期→(年度)】○学習カード等を活用して「早小っ子学びのルール」を確認したり、職員が共通理解をして指導を進めたりしたことで、学習の約束を守ろうとする児童の意識が高まってきた。→職員や児童が声を掛け合って、さらに学習の約束を守っていけるようにルールの徹底を図りたい。 ○家庭学習の習慣はついてきているが、学習時間や学習内容において個人差が大きい。→家庭学習ノートに貼った手引きの内容を折に触れて確認したり、家庭学習のよい例を他の児童や保護者に紹介して児童の意欲を高めたりするといった実践を継続したい。 ○図書委員会が図書室利用を呼びかけたり、授業で教科指導と関連付けた読書を進めたりしたことで、読書への意欲が高まってきた。→読書ファイルを親子読書の日に持ち帰り、カードに記入してある読書への取り組みの蓄積を、保護者に確認してもらう機会を設けることで、家庭でもさらに読書への関心が高まるよう呼びかけていきたい。 ○学び合いや深め合いを目的とした「はつらつタイム」を設定している。「はつらつタイム」の他にも、小人数やペアなど、児童の実態に合わせた話し合いの形態を工夫することで、課題解決に向かう姿が見られた。→授業で「はつらつタイム」を確実に取り入れ、考えが深まるような発問を教師が工夫することで、児童一人一人の学力向上を図っていきたい。 ○全国学力・学習状況調査は、国語は全国平均を上回ったが県平均を下回った。算数と理科は全国平均も県平均も上回った。→詳しく分析を行い、しっかりと回復指導をしていく。個人差が大きいので、個別指導に力を入れたり、授業の中でも類似問題に取り組んだりするなど、工夫して指導していきたい。 【年度(一次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
7 学習への取組	(12) 基本的学習習慣の定着	早小っ子学びのルールの定着 学習カードの活用 花マルDAYの継続	4	
	(13) 基礎・基本の確かな定着	はつらつと学び合う場の推進 パワーアップタイム等の継続実施 家庭学習の充実	4	
	(14) 表現力を高める読書活動の充実	読書意欲を高める読書指導・読書運動 学年おすすめの本の活用 親子読書の奨励	3	
8 授業改善と学力向上	(15) 授業力向上の職員研修	課題解決に向かう授業改善 共感的・協働的学び合い学習の推進 学び合う教職員	3	
	(16) 諸検査の状況	全国学力・学習状況調査・学力調査の分析と活用・補充指導	4	

★実践事項 ○児童 □保護者 ■職員

〔7 学習への取組〕

(12) 基本的学習習慣の定着

- ハンドサインや話型、学習用具の整頓やノートの使い方などの約束を守って学習している。
- 「早小っ子学びのルール」や家庭学習の手引きの活用、ノート展、花マルDAYなどの実施は家庭学習習慣を身に付ける上で有効だと思うか。
- 早小っ子学びのルールの定着 学習カードの活用 花マルDAYの継続が学習習慣の定着に結びついているか。

(13) 基礎基本の確かな定着

- 家庭学習や授業中の練習問題などにがんばって取り組んでいる。
- ペア・グループを活用した学び合いやパワーアップタイム、家庭学習強調週間の実施は、子どもたちの基礎的な学習の定着につながっていると思うか。
- はつらつと学び合う場の推進 パワーアップタイム等の継続実施により子どもの学力が定着しているか。

(14) 表現力を高める読書活動

- 読書タイムに静かに読書したり家で学校から借りた本や家にある本を読んだりしている。
- 朝読書や読み聞かせ会、読書環境の整備、親子読書の奨励によって読書への関心が高まっていると思うか。
- 読書、読み聞かせ、親子読書により表現力を高めているか。

〔8 授業改善と学力向上〕

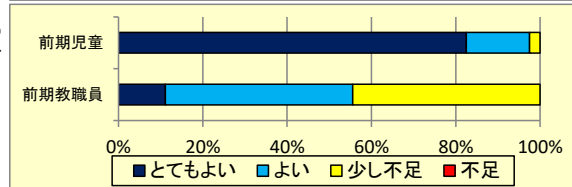
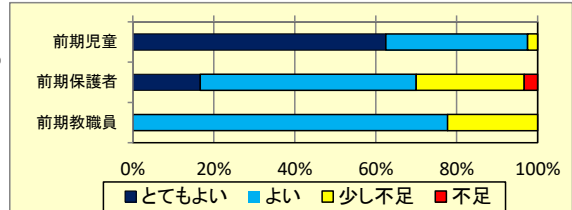
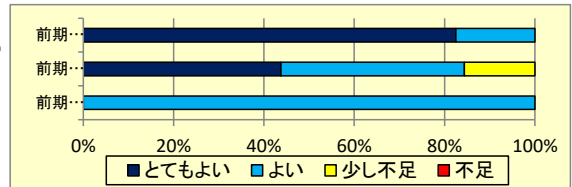
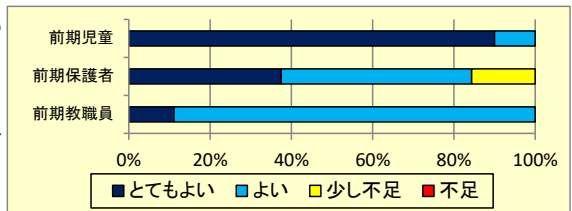
(15) 授業力向上研修・学び合いの充実

- 授業中に友達の考えをしっかりと聞いたり、自分の考えを発表したりしている。
- 授業改善、学び合いの充実が図られているか。

(16) 諸検査の状況

令和7年度全国学力・学習状況調査(全国比・秋田県比)

	国語	算数	理科
本校	67	63	66
秋田県	71	60	61
全国	66.8	58	57.1



学習活動の様子



★課題解決に向けたペアや小グループの意見交流



★考えを学び合い、深め合う「はつらつタイム」の設定

イ 学校運営の状況

V 教育課程・教育環境

学校の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
教育課程と教育環境の充実に向かって、チーム早口として組織的、主体的に取り組んでいる。	前期 良好	良好	地域や近隣の学校の協力を仰いでの徒渡りや元気農園の活動など、充実した取組ができている。がんばり山や玄関入口階段の修復など安全に配慮しながら環境を整えている。トイレの和式が地域からの来客に大変なところがあるので検討したい。
善学校評価の概要と学校の改	年度		【前期(→年度)】〇活動の積み重ねを大事にし、一人一人が主体性をもって「早口川の徒渡り」を行った。これまで以上に幅広くPR活動したことで参加者も増え、大人数で行事を盛り上げることができた。暑さや川の水量が懸念されたが、こまめな水分補給や低学年の渡る場所を工夫するなどして、参加者全員が川渡りを実感することができた。さつまいも苗植えでも5年生を中心に保小連携を図って全校児童で関わり合って活動することができた。→年々、児童数が減少していく中でどのように活動の継続を図っていくかを模索しながら、ふるさとキャリア教育の充実に向けた実践を重ねていきたい。 〇毎日の見回りや毎月1回の安全点検を通し、児童が安全に過ごすことができるように努めてきた。複式学級の教室整備としては、児童の実態や教科の特性に応じてよりよい学習が提供できるよう、教室を仕切るパーテーションや移動黒板を活用し、2学年同じ教室で学習したり、教科によって別々の教室で学習したり、パソコン室などの広い教室を使用したりするなど、最適な学習環境を工夫してきた。今年度は、教育委員会に要望していた遊具の補修もしていただいた。→安全点検を継続するとともに、全職員が危機管理意識をもって取り組み、複式学級については、今後も必要な備品や教室環境を整えていきたい。 【年度(→次年度)】

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B 前期 年度
9 特色ある学校づくり	(17) 特色ある教育課程の編成と実施	「自立・感謝・貢献」を核としたふるさとキャリア教育の充実。特色を生かし効果的に教育課程を実施するカリキュラムマネジメント	4
10 教育環境の充実	(18) 施設設備・環境の整備	定期的な施設・設備の点検 学習環境の整備 予算の有効活用	4

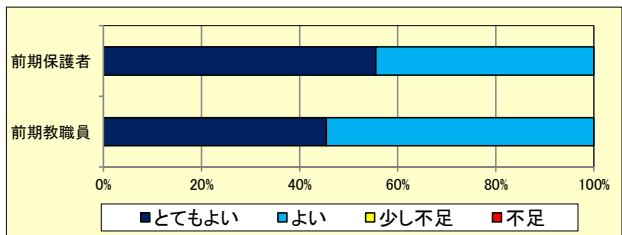
★実践 ○児童 □保護者 ■教職員

(17)特色ある教育課程の編成と実施

□ 学校は、はつらつ元気農園活動の継続や徒渡りなどの「はつらつプロジェクト」を通して、特色あるふるさとキャリア教育を進めていると思うか。

■ 「自尊・自立・貢献」を核としたふるさとキャリア教育などの教育課程の編成と実施により、特色ある学校づくりを行っているか。

(17)



★活動した。つた五(「さつまいも苗植え」)年生が先頭にも長年交えて画り運合た営は、



★【「早口川の徒渡り」に関連して】

「羽州街道の旅」は、151周年記念事業の一環として、全校児童で弘前城を訪れた。道のりの長さに当時の大変さを実感した児童らは、「早口川の徒渡り」では、当時の苦労や思いをこれまで以上に感じながら取り組んだ。多くのハローワーク参加者、保護者の大きな協力があり、盛大に実施できた。

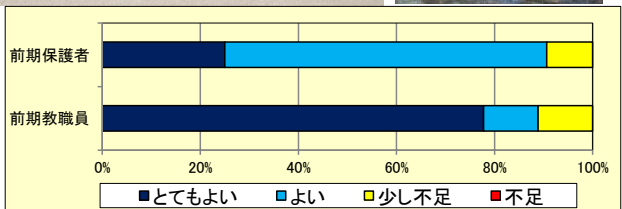


(18)定期的な施設設備の点検 学習環境の整備

□ 学校の周りや校内の施設・設備、学習環境は安全に整備されているか。

■ 定期的な施設設備の点検と補修・環境整備、予算の有効活用が図られているか。

(18)



★がんばり山の補修・整備



★複式学級の教室活用



★トイレの洋式化・プールのトイレの

男女兼用解消と簡易水洗化

和式に慣れていない子が増えているにも関わらず、洋式トイレは各階に1つしかなく、改善の要望が多い。

また、プールのトイレは男女兼用かつ汲み取り式なので、使用しにくい状況である。間仕切りの設置や簡易水洗化を教育委員会に要望中である。

イ 学校運営の状況

VI 保護者・地域との連携

学校の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校の取り組みを分かりやすく保護者や地域に伝えており、地域の教育力が有効に活用されている。	前期 良好	良好	150周年を意識して行事を運営したことで、地域や保護者の協力を得て児童減少に負けない活気を示し、地域に元氣と感謝を届けている。クラブの指導や寄付や寄贈などたくさんの方に支えられていることを子どもや保護者、先生方で共有できた。
策 学校評価の概要と学校の改善	年度		【前期(一年度)】○150周年を意識した学校報の定期的な地域配付やホームページの更新等で、学校行事や子どもたちの様子を特集を組むなどして保護者や地域にお知らせしている。また、各学年の便りで学級での子どもたちの学習面や生活面の様子を写真を入れながら保護者に伝えている。その他連絡帳や電話、メールを使って、保護者と連携を図っている。さらに保健だよりを活用し、子どもたちの健康面についても情報を提供し保護者と連携した取組ができるように努めている。→保護者のアンケートでは、やや不足が昨年よりも減少しているがまだある。これまで以上に情報交換を密に行い、ニーズを受け止めながら、家庭との連携を図っていききたい。 ○学校運営協議会のスタートで、熟議を行うなど順調なスタートを切ることができた。PTA、地域ボランティアについては、150周年を意識して例年以上の実施ができている。クラブ活動や元氣農園、田植えは、同様に外部の方を講師に、指導していただいている。→2学期以降の学校行事についても、学校運営協議会のご意見を大切にしながら、本校の強みを生かし、地域のお力をお借りしながら、学びを還元できる貢献につながるよう連携を進めたい。 【年度(一次年度)】

	実践課題	主な取組	学校評価B
			前期 後期
11 地域・家庭との連携	(19) 家庭・地域への情報発信・受信・相互理解	学校報の家庭・地区配布 ホームページ更新 各種通信 情報発信による「チーム早口」啓発活動	4
	(20) 学校評価の計画的実施と充実	PDCAサイクルの機能化 学校評価アンケートの活用 学校評価だより・評価書の家庭・地域への開示(HP)	4
12 地域の教育力の活用	(21) 保護者との連携や地域素材・人材の活用	PTA・保護者ボランティア・クラブ活動指導者との連携 地域学校協働本部事業の活用	4

★実践 ○児童 □保護者 ■教職員

(19)家庭・地域への情報受発信・相互理解

□ 学校報、学年だより、学校HPやブログなどは、学校や子どもたちの様子を分かりやすく伝えていると思うか。

■ 学校報・各種通信の配付、HP・ブログ等での情報受発信による「チーム早口」啓発活動により、教育活動が分かりやすく伝えられているか。

□ 学校は、連絡帳や個人面談、その他の情報交換により、保護者との連携を行っていると思うか。

(20) 学校評価の計画的実施と充実

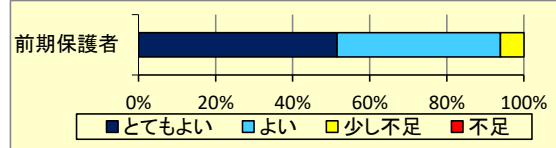
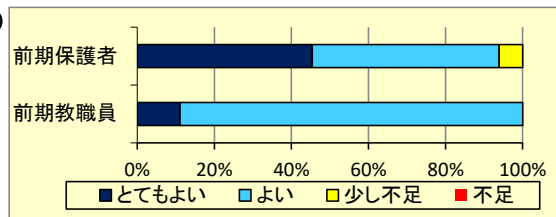
■ 学校評価アンケート活用 学校評価だより・評価書の配付が計画的に行われているか。

(21) 保護者との連携や地域素材・人材の活用

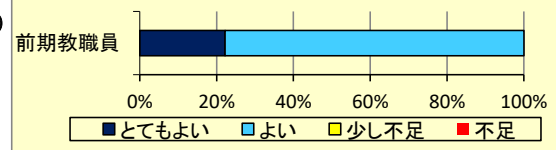
□ 学校は、PTA活動や様々な行事、各教科学習、クラブ活動などで、保護者や地域の教育力を活用していると思うか。

■ PTA・地域ボランティア・クラブ活動指導者との連携や、学校運営協議会を生かした家庭・地域との連携、地域学校協働本部事業を活用しているか。

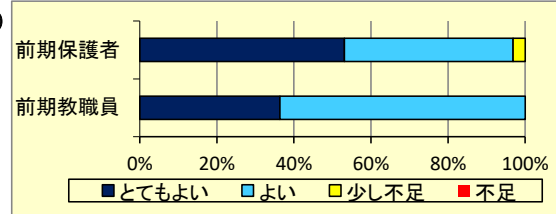
(19)



(20)



(21)



★サツマイモの苗植え作業

JAあきた北田代支店の皆様、婦人部、地域コーディネーターと地域の皆様のお力をお借りしながら、今年度は棟数を増やし、園児とともにサツマイモの苗を植えることができた。



★150周年記念運動会

地域や保護者の皆様の参観種目を加えながら、運動会を実施することができた。



★第1回学校運営協議会

昨年に続き、委員と教職員で熟議を行い、本校の強みと課題を共通理解した。

